

決算説明会

2019年5月23日

株式会社東京エネシス
代表取締役社長 熊谷 努

目次：

1. 会社概要
2. 連結決算の概要（2019年3月期）と主要経営指標等の推移
3. 部門別の収支状況（火力・原子力・太陽光関係）等
4. 2018年度中期経営計画の達成状況
5. 最近の事業構造の変化と今後の方向性

【この1年間のトピックス】

1-1. 会社概要

社 名： 株式会社 東京エネシス

本社所在地： 東京都中央区茅場町 1 - 3 - 1

設 立： 1947年8月14日

代 表 者： 熊谷 努

資 本 金： 28億81百万円（2019年3月31日現在）

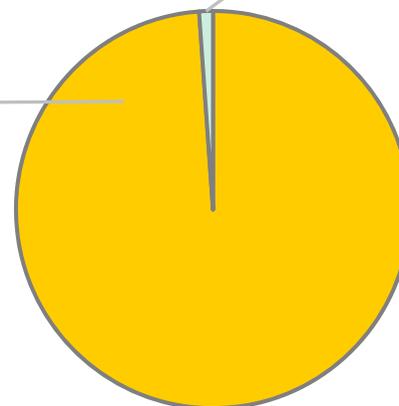
従 業 員 数： 1,225名（2019年3月31日現在 受入出向除く）

事 業 内 容： 以下のとおり。

設備工事業 99%

電力関連設備（※）や一般電気設備等の建設・保守に関する設計・施工

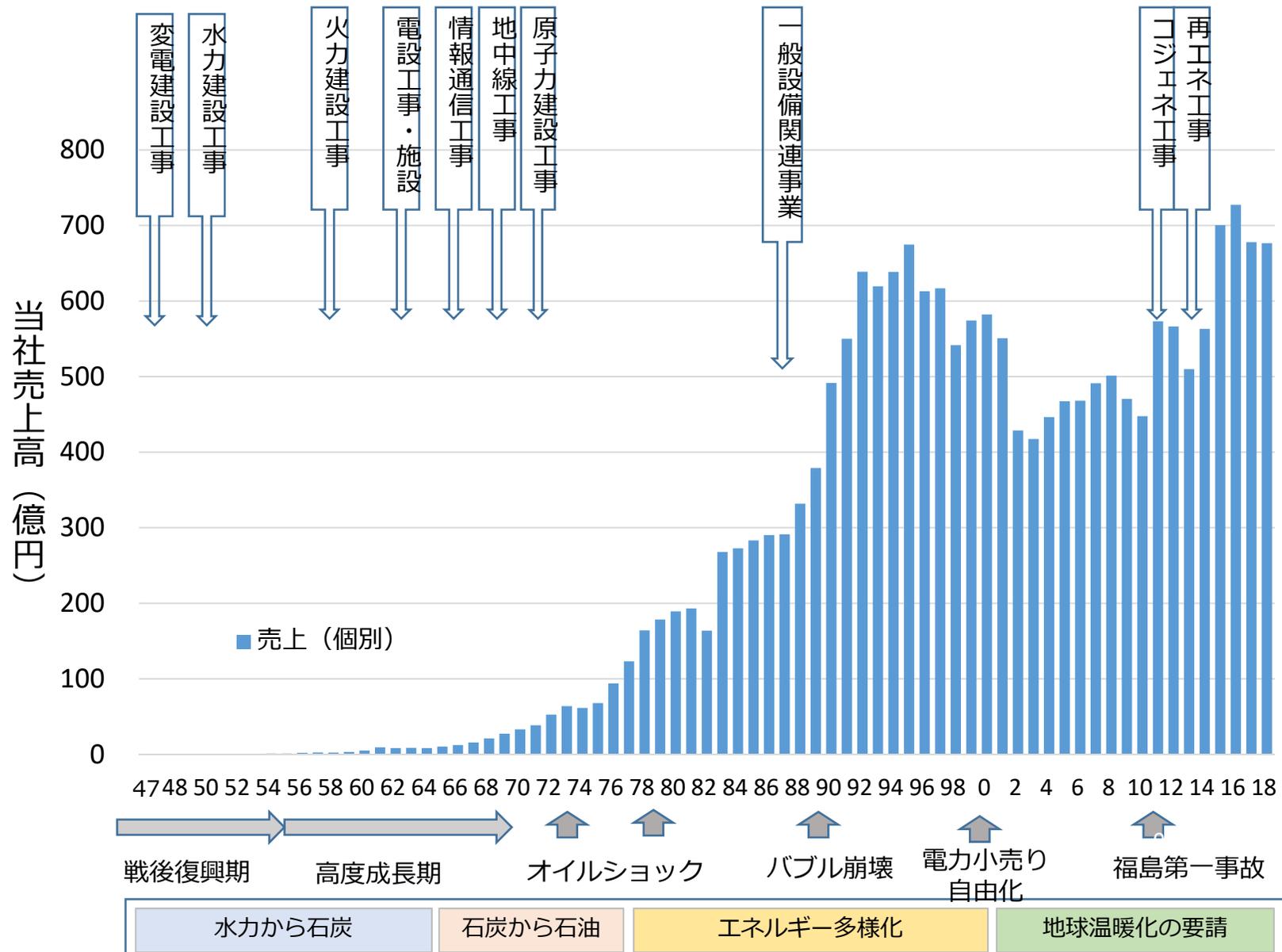
※ 設立時は水力発電・変電が主であったが、現在は火力発電・原子力発電が主。



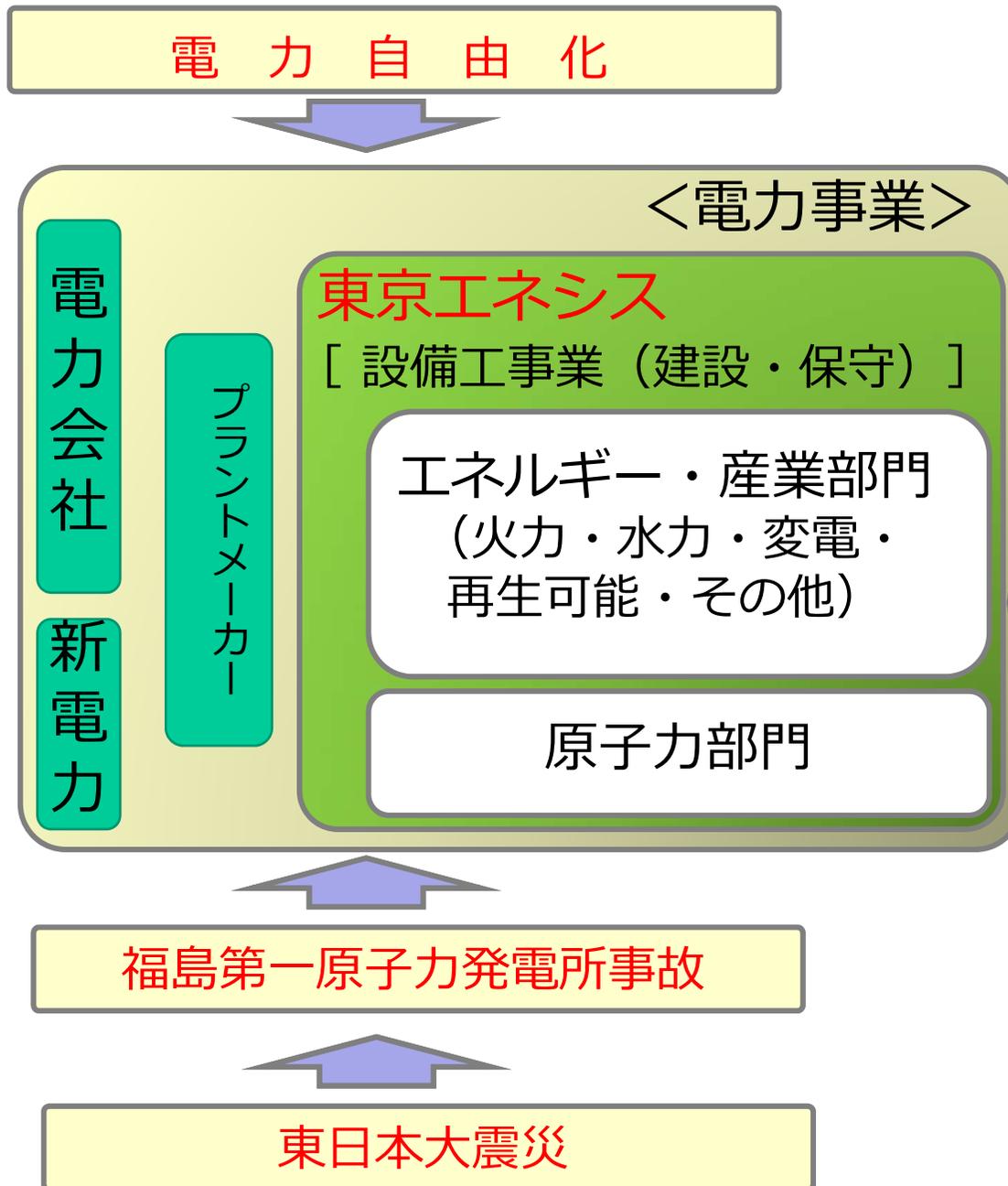
その他事業 1%

- ・ 太陽光発電による電力販売事業
- ・ 不動産賃貸・管理事業
- ・ リース・レンタル事業
- ・ 保険代理事業

1-3. 当社事業活動



1-3. 経営環境の変化



> 経営環境の変化 <

【火力関係】

- 石油火力の廃止・リプレース
- LNG火力の高効率化
- 新電力の参入
- 石炭火力への逆風
- JERA様へ火力事業統合

【原子力関係】

- 東京電力管内全機停止
- 福島第一の廃炉
- 安全対策／新規制基準（柏崎刈羽・志賀・女川・六ヶ所等）

【その他】

- 再生可能エネルギー拡大（太陽光発電からバイオマス、風力へシフト）
- コージェネ、空調設備他の増加
etc.

2-1-1. 連結決算の概要（2019年3月期）

【受注工事高・手持工事高】

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減額（比率）
受注工事高	70,255	73,678	+3,423（+4.9%）
手持工事高	63,212	68,246	+5,034（+8.0%）

【完成工事高・利益】

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減額（率）
完成工事高	68,709	68,644	△65（△0.1%）
完成工事総利益	8,242	8,917	+675（+8.2%）
完成工事総利益率	12.0%	13.0%	+1.0%
営業利益	4,205	4,822	+617（+14.7%）
経常利益	4,356	5,031	+675（+15.4%）
当期純利益	2,904	3,508	+604（+20.8%）

2-1-2. 連結決算の概要（2019年3月期）

【貸借対照表】

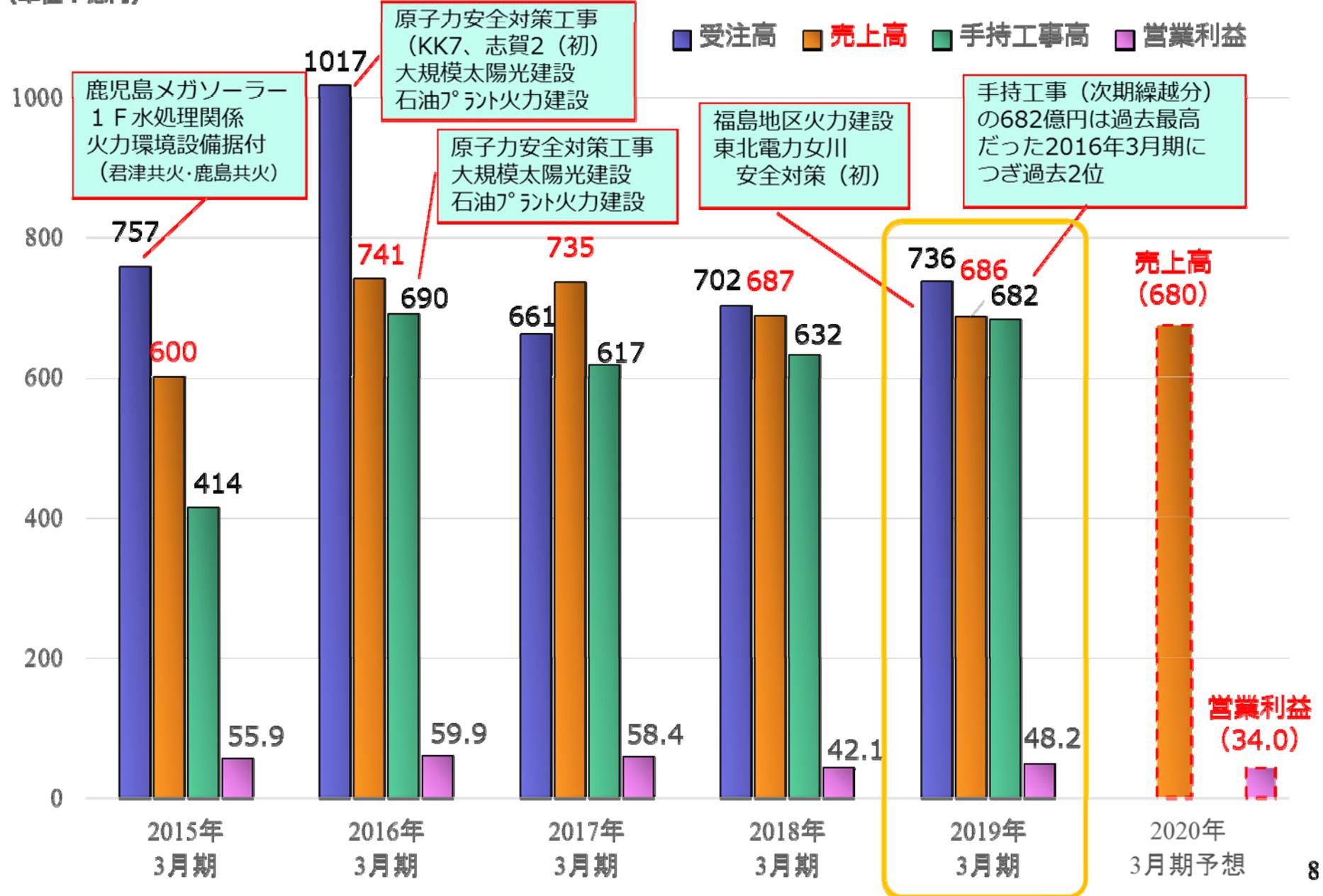
（単位：百万円）

資産の部	2018年3月末	2019年3月末	増減額（比率）
流動資産	57,060	58,657	+1,597（+ 2.8%）
固定資産	26,385	27,097	+ 712（+ 2.7%）
有形固定資産	16,633	16,618	△ 15（△ 0.1%）
無形固定資産	326	153	△ 173（△113.1%）
投資その他の資産	9,425	10,325	+ 900（+ 9.5%）
資産合計	83,446	85,755	+2,309（+ 2.8%）
負債・純資産の部	2018年3月末	2019年3月末	増減額（比率）
流動負債	17,051	16,729	△ 322（△ 1.9%）
固定負債	7,753	7,570	△ 183（△ 2.4%）
負債合計	24,805	24,299	△ 506（△ 2.1%）
株主資本合計	56,568	59,302	+2,734（+ 4.8%）
純資産合計	58,641	61,455	+2,814（+ 4.5%）
負債・純資産合計	83,446	85,755	+2,309（+ 2.8%）

2-2. 受注高・売上高・手持工事高

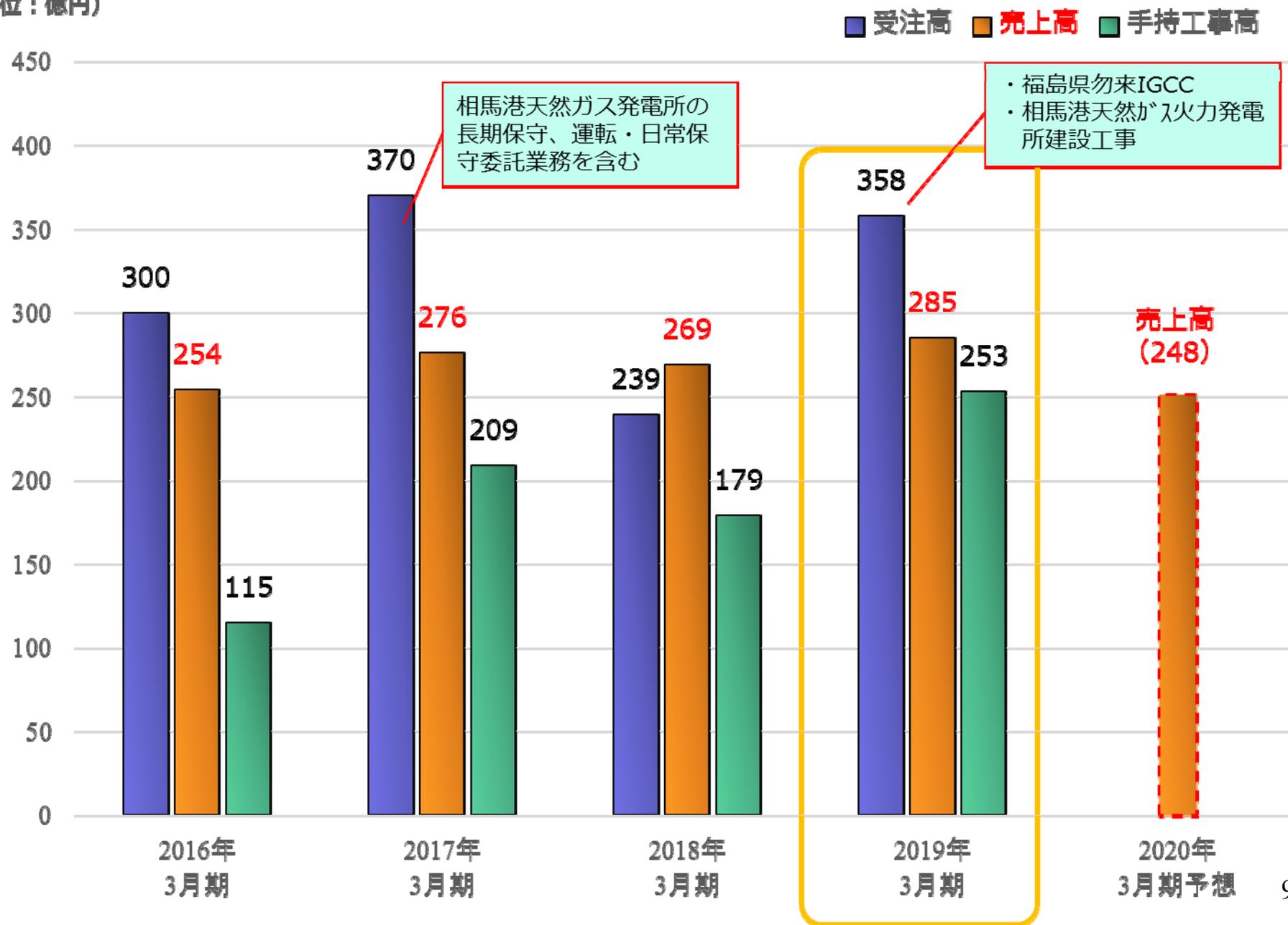
および営業利益の推移 (連結)

(単位：億円)



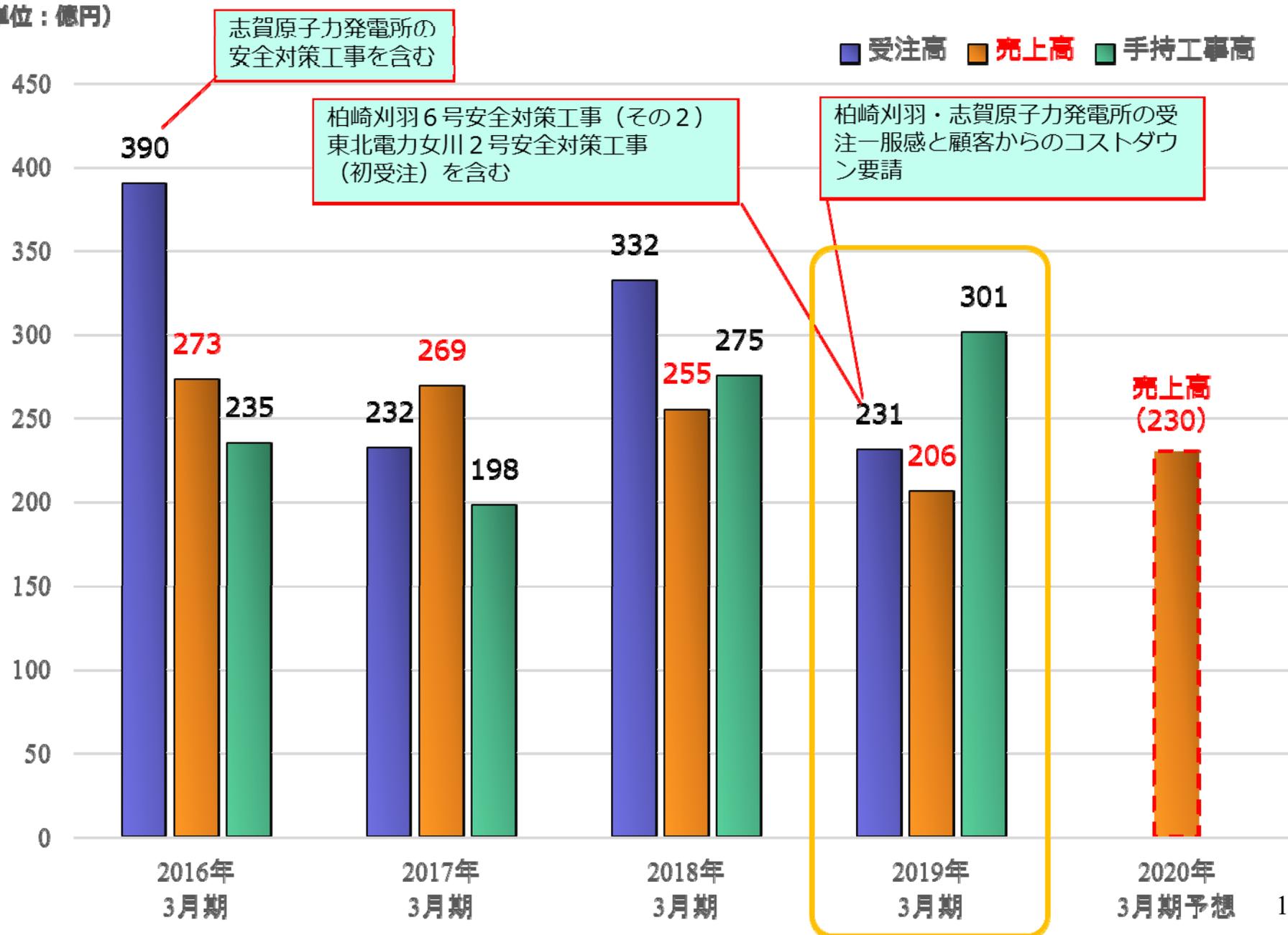
3-1. 部門別の収支状況 [火力関係/個別]

(単位：億円)



3-2. 部門別の収支状況 [原子力関係/個別]

(単位：億円)



3-3. 部門別の収支状況 [太陽光関係/個別]

(単位：億円)

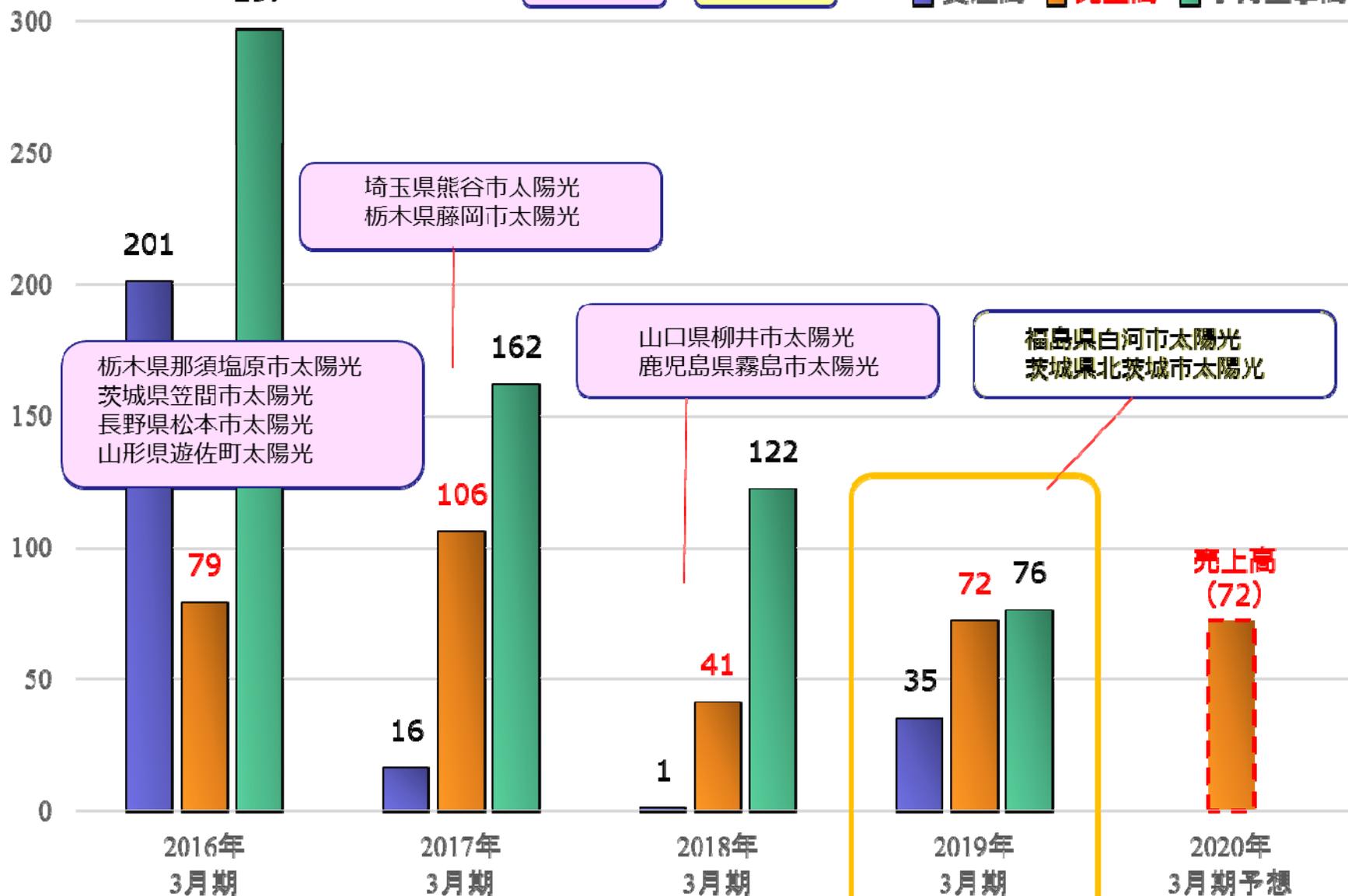
完工実績

工事進行中

■ 受注高

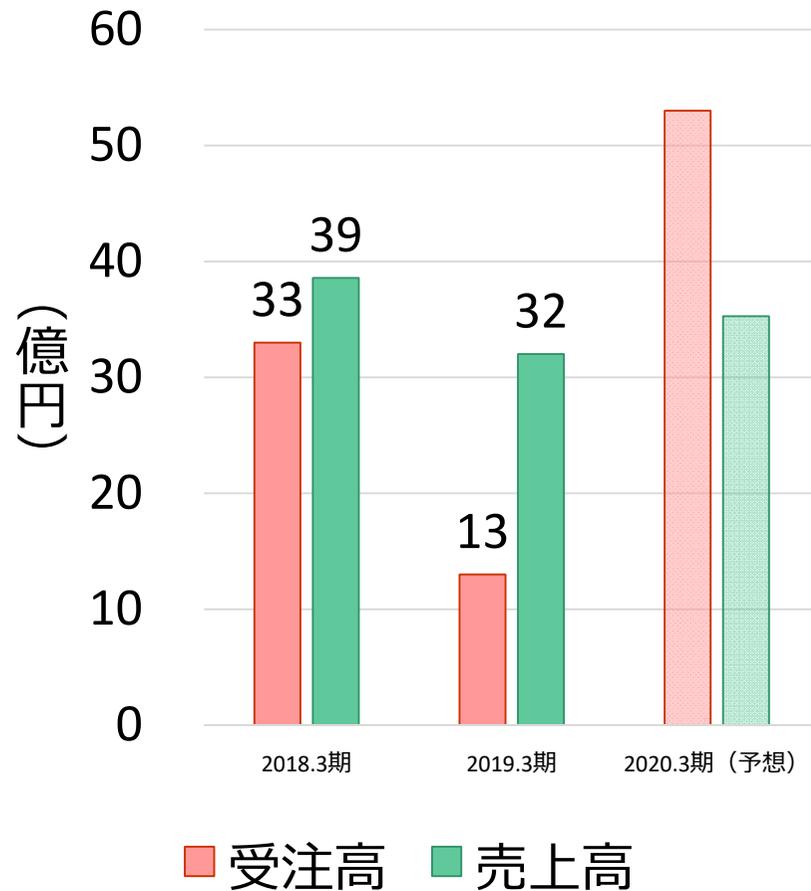
■ 売上高

■ 手持工事高



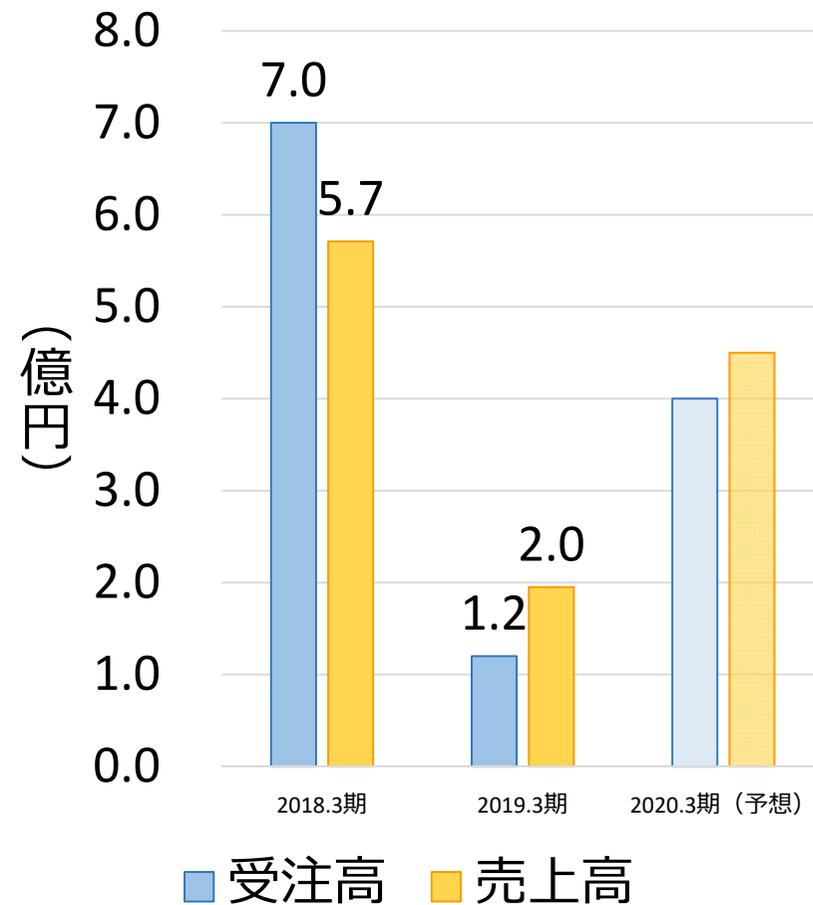
【コージェネレーションシステム】

受注高・売上高



【バイオマス発電】

受注高・売上高



3-5-1. 業績見通しの修正について

当社は、2019年3月期において2度の通期業績修正を実施し公表

○ 2019年1月24日「通期業績予想修正」

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,000	5,200	5,300	3,600	106.50
今回修正予想 (B)	65,700	2,800	3,000	2,100	61.98
増減額 (B-A)	△5,300	△2,400	△2,300	△1,500	
増減率 (%)	△7.5	△46.2	△43.4	△41.7	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	68,709	4,205	4,356	2,904	86.07

○ 2019年4月26日「業績予想との差異に関するお知らせ」

2019年3月期通期連結業績予想数値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,700	2,800	3,000	2,100	61.98
実績値 (B)	68,644	4,822	5,031	3,508	103.64
増減額 (B-A)	2,944	2,022	2,031	1,408	
増減率 (%)	4.5	72.2	67.7	67.1	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	68,709	4,205	4,356	2,904	86.07

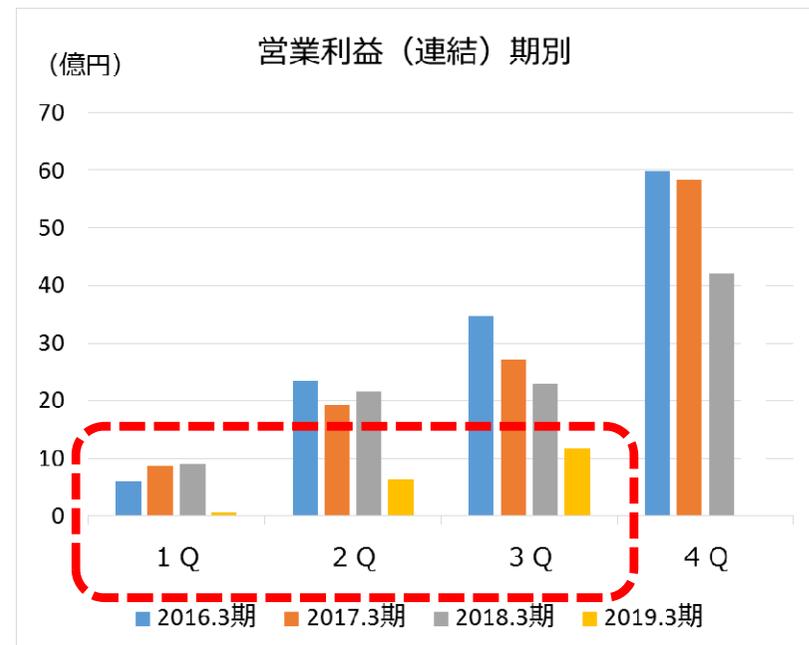
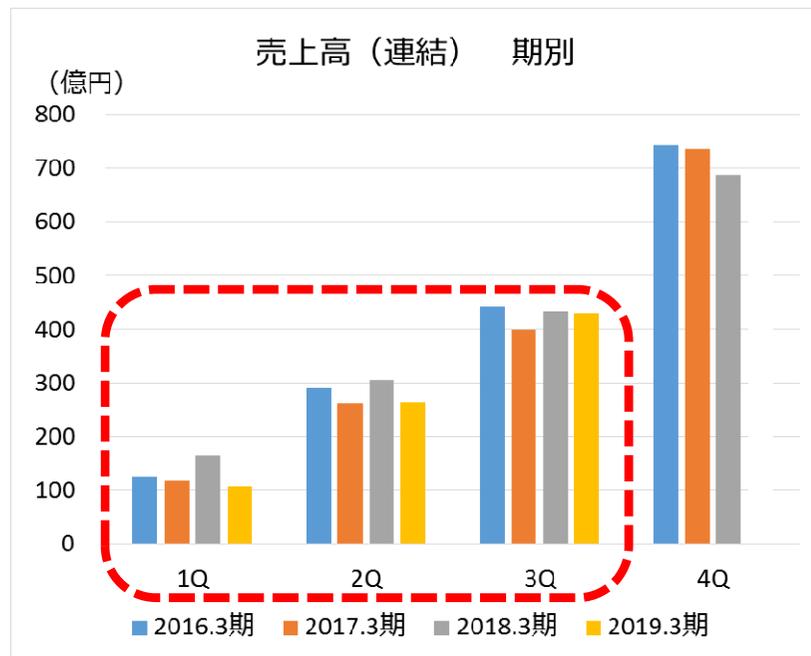
2度の見直し修正となりました状況は次の通りです。

3-5-2. 業績見通しの修正について (1月24日) Q'd東京エネシス

○2019年1月24日「通期業績予想修正」について

- 1 Q : 太陽光発電工事の進捗遅れ、火力3支社の保守工事低調
原子力安全対策工事が着工直後であったため進捗せず売上立たず
- 3 Q : 太陽光発電建設工事, 原子力安全対策工事は進捗
火力保守工事や原子力工事の顧客都合による進捗遅れにより売上高減

以上の観点から、状況が好転するにはなお、時間を要すると見込まれたことから通期業績見通しを修正

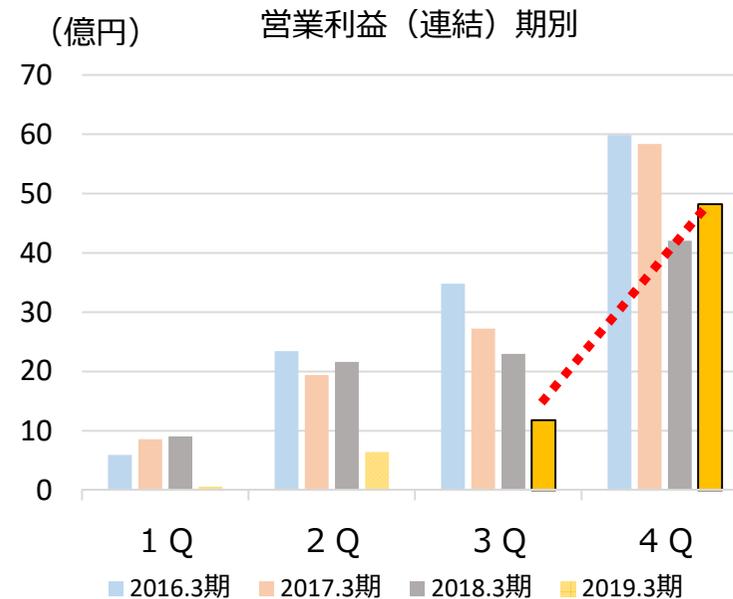
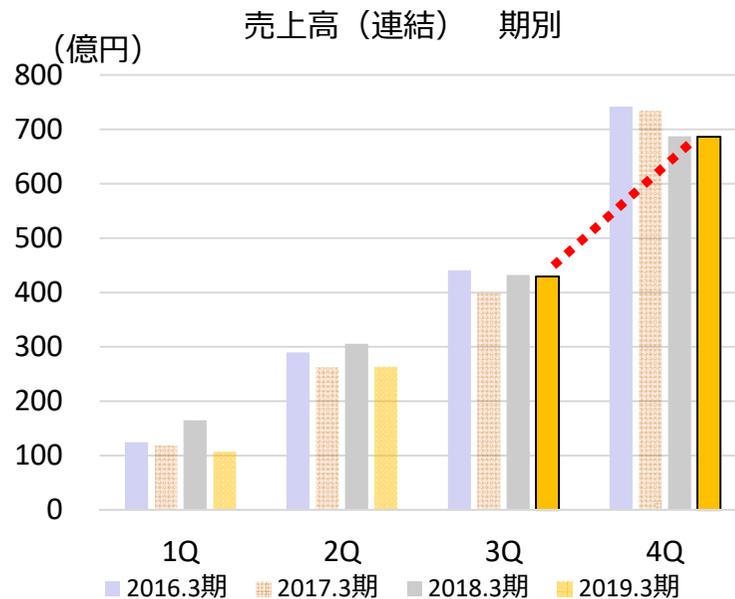


3-5-3. 業績見通しの再修正（4月26日）

○2019年4月26日「業績予想との差異に関するお知らせ」について

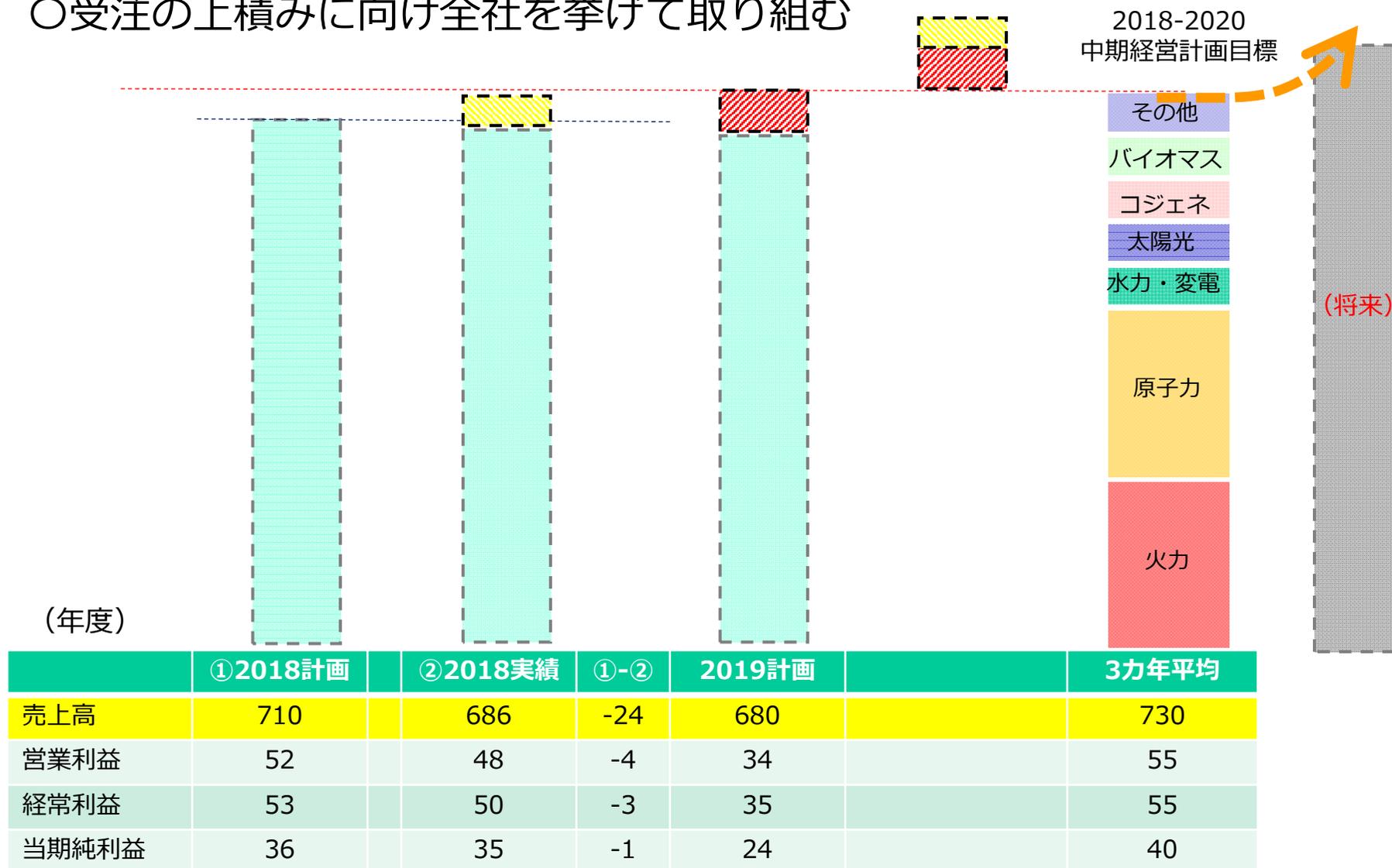
- 1月の業績見通し修正後から期末にかけて、東京電力FP(株)様の火力保修及び原子力安全対策工事において、工期前倒しや計画外工事等が発生
- これにより売上高が1月修正時予想から29億円増（連結）
- 利益面では、コストダウン、人員の効率的配置等により原価率を改善

以上により、1月の通期業績修正時見通しとの差異が発生。

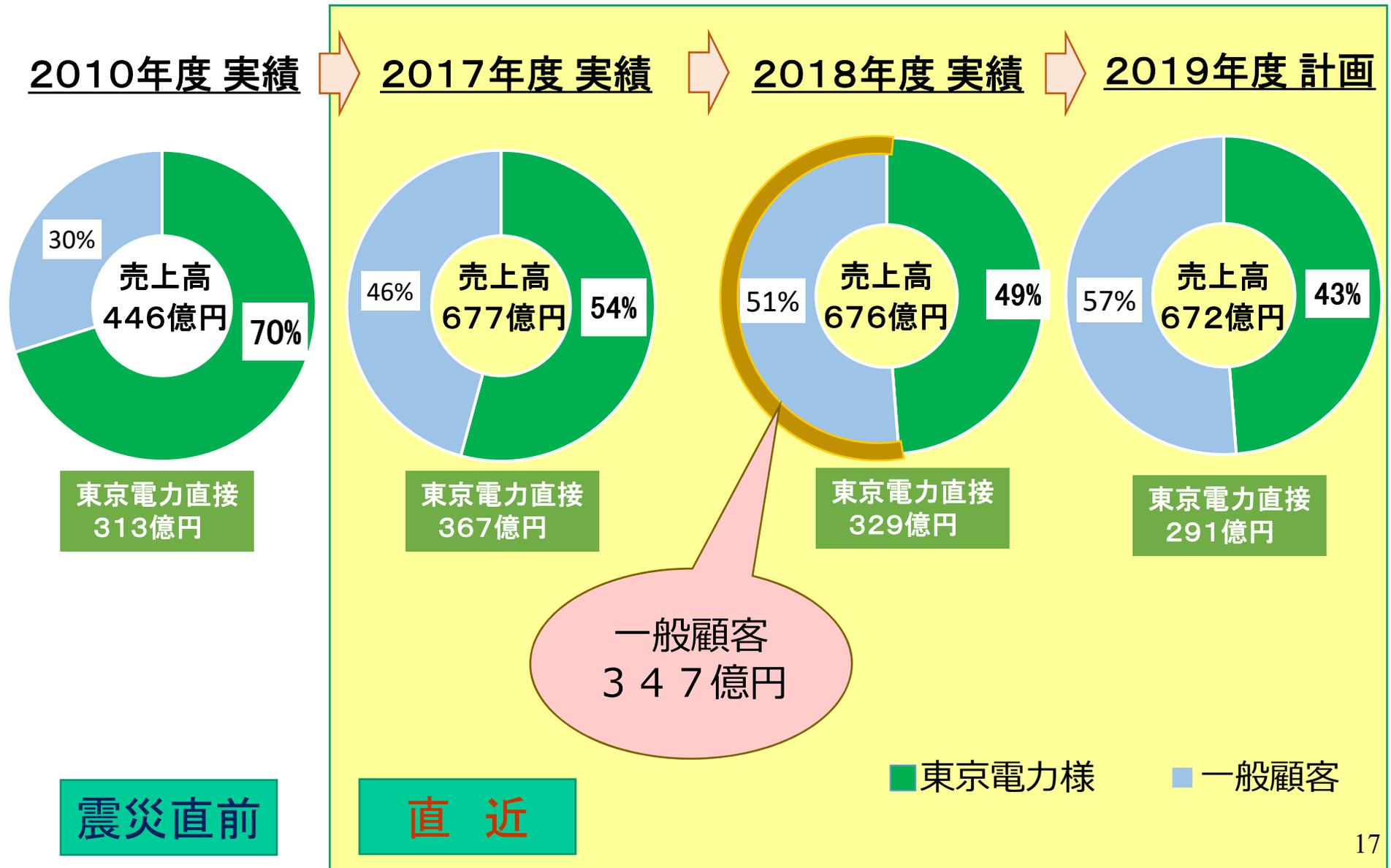


4. 2018年度中期経営計画

- 経営環境が厳しい状況の中にあって2018年度は目標未達成
- 2019年度も平均目標達成は難しい見通し
- 受注の上積みに向け全社を挙げて取り組む



5-1. 東京電力直接売上高比率の推移（個別）



★ 新事業領域

- [例] ・新電力関連 ・ITインフラシステム関連
・バイオマス発電 ・海外事業 ・空調・通信
・自治体・官公庁関連 ・水力PFI etc

EPC (設計・調達・建設)

▼
O&M (運転・日常保守)

LTSA (長期保守)

★ 既存事業の拡大・転換

電力設備の建設・保守メンテナンス

【他の既存電力会社】

- [例] ・原子力発電所安全対策工事
・特定重大事故等対処施設 etc

【原子燃料サイクル施設】

【電力会社以外】

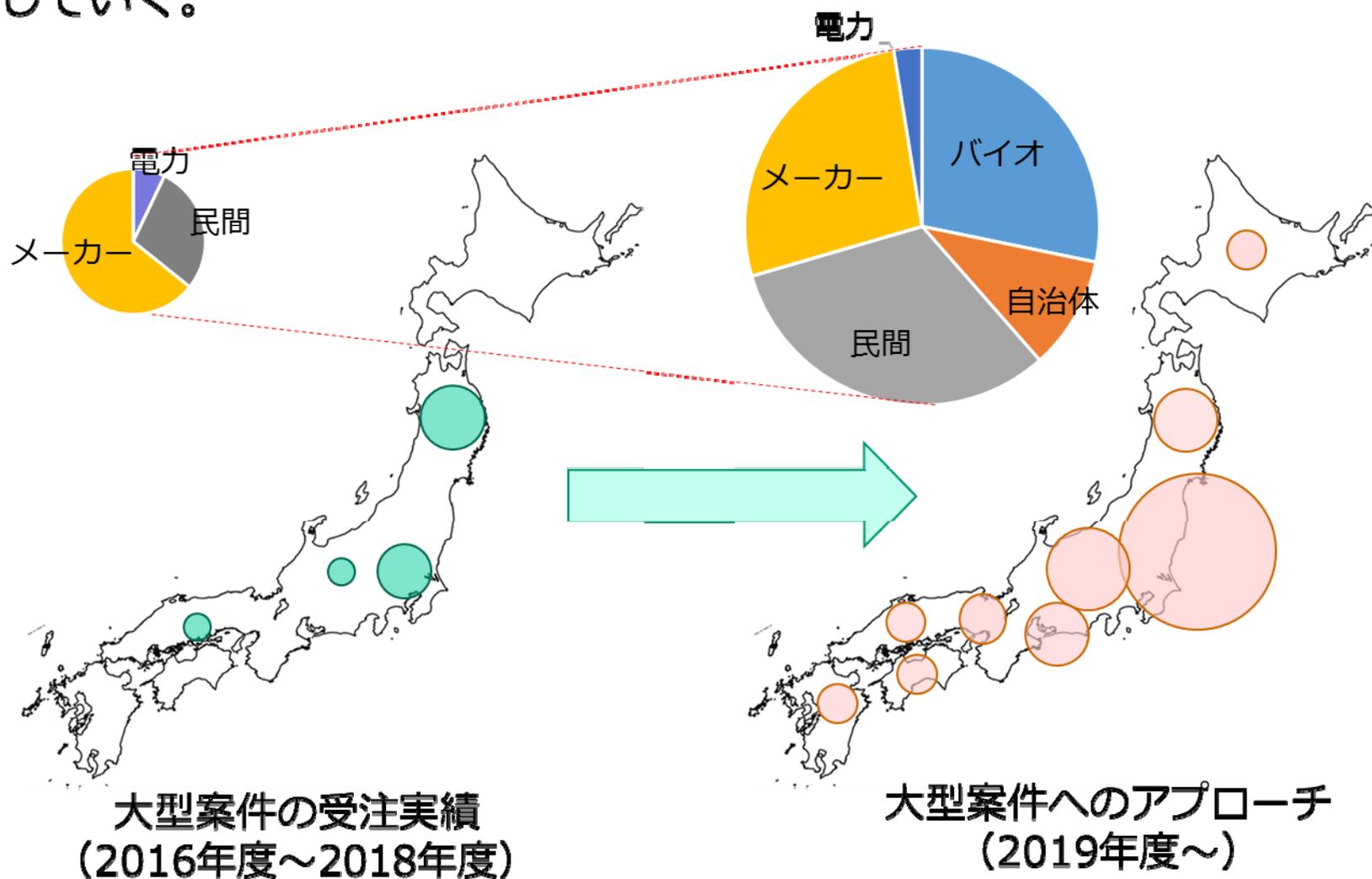
- [例] ・石油化学プラント発電設備
・大型太陽光発電設備
・水力発電設備(スクラップ&ビルド)
・民間メンテナンス etc

【東京電力様】

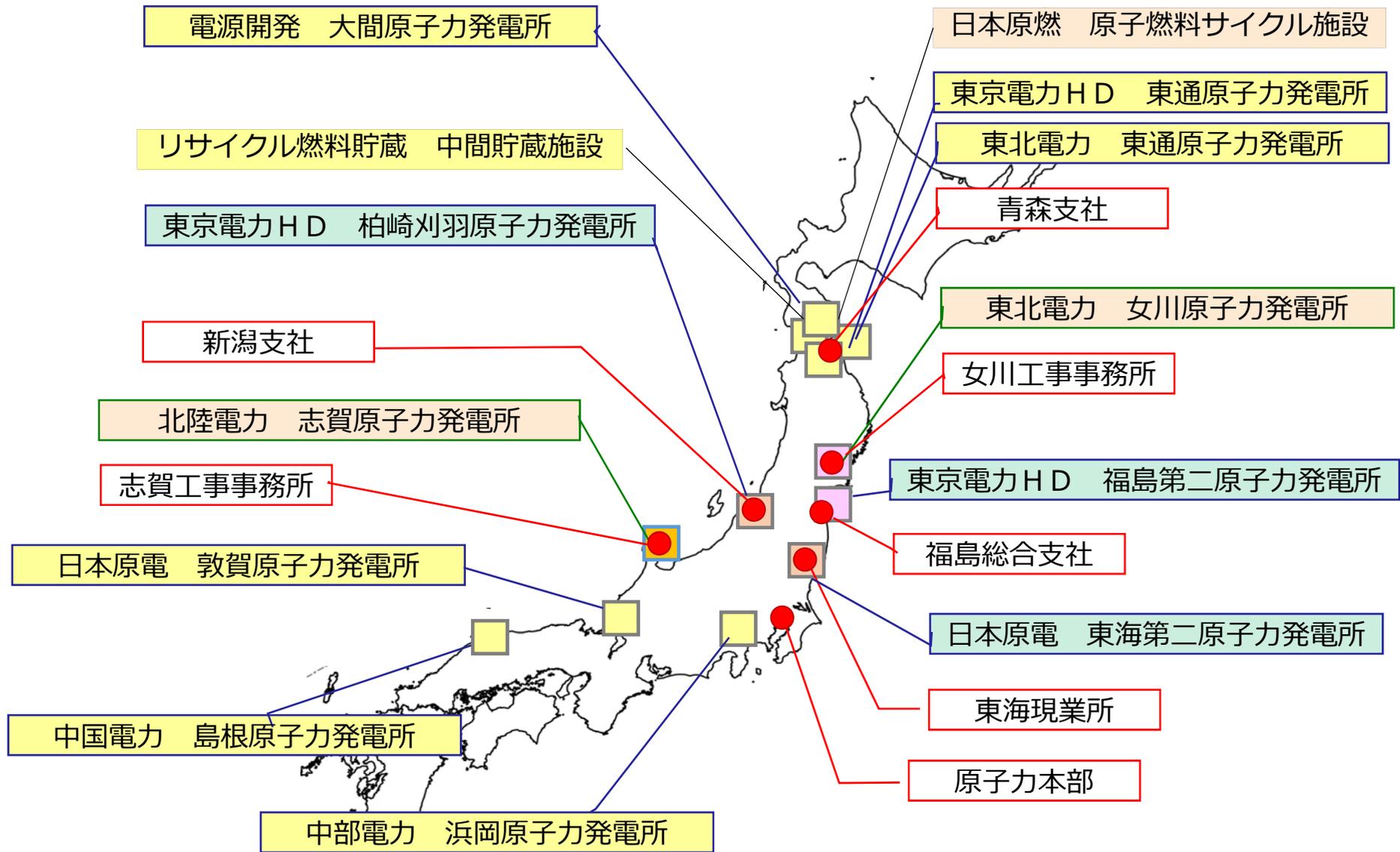
- [例] ・老朽石油火力のリプレイス・原子力発電所の安全対策
・福島第一の廃炉 etc

5-3. エネルギー・産業部門の取り組み

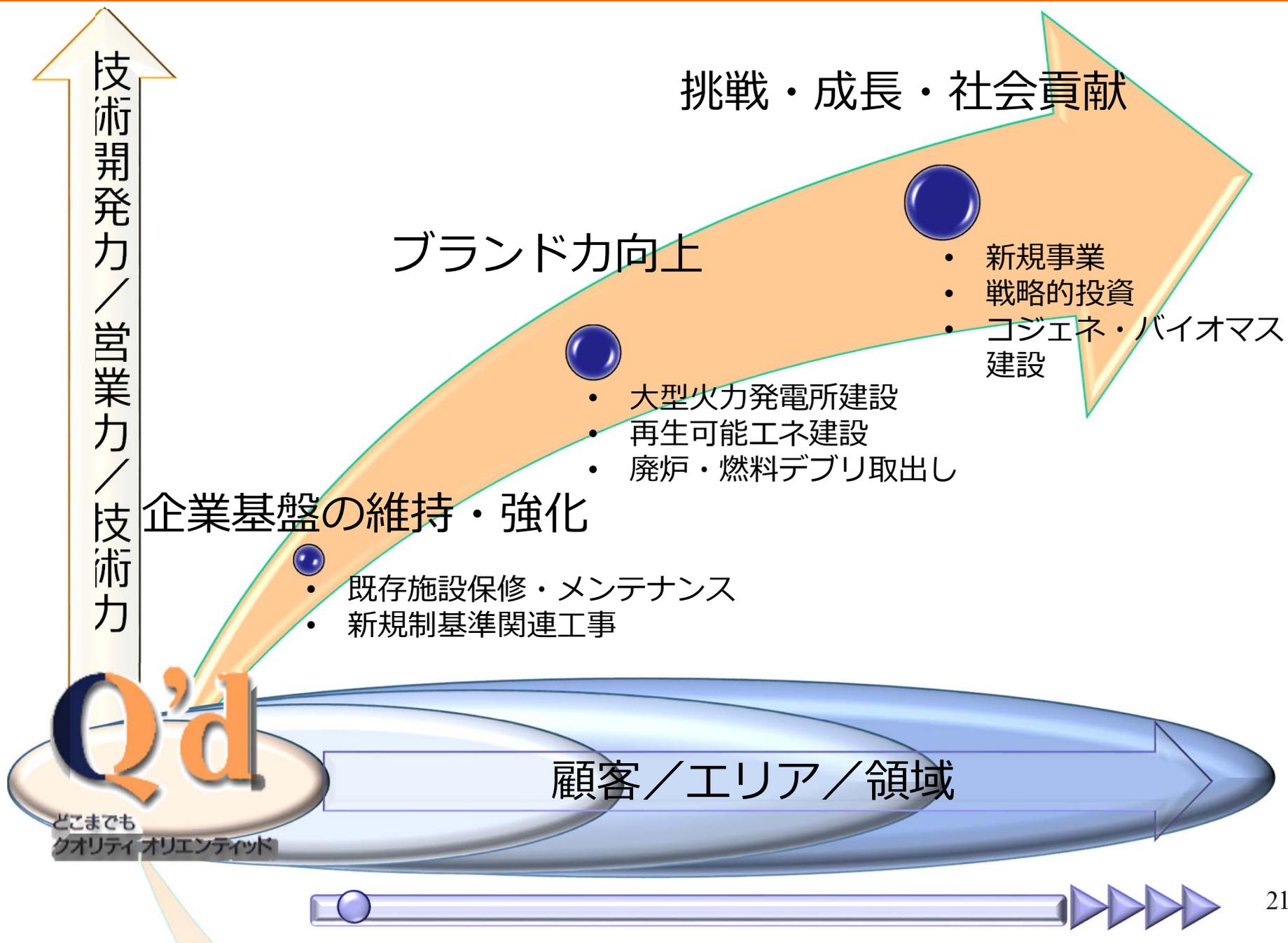
「収益構造の多様化」に向け、事業ターゲットとエリアの両面で領域拡大に向けた営業戦略を展開していく。電力・メーカー営業拡充に加え、バイオマス、公共事業向けの営業を重点的に実施し、売上向上の原動力としていく。



5-4. 原子力部門の取り組み



● 当社の原子力拠点



- 経営改革へ向けた取り組み
- 事業展開

【火 力】 建設進む！ 福島ガス発電

【原 子 力】 女川町工事事務所開設

【原 子 力】 福島第一建屋内調査のロボット開発

【水 力】 65年の時を経て再び！

【コジェネ】 省エネ・環境問題対応へのお手伝い

【公共工事】 築地大橋ライトアップ工事

【経営改革本部】

【ステアリング会議】

議長 社長

指示・
命令
付議

＜事業運営会議＞

ライン業務・実務実施

上申
付議

＜常務会・取締役会＞

経営層決議

規程改訂

調整

答申

指示

【4つのテーマ別委員会】

【組織改革】

- 事業領域拡大へ向けた組織体系の検討

素案取り
まとめ原
案策定

関係部署による
検討・調整

【人事制度改革】

- 中長期人員戦略の検討
- 人的資源の確保・適正配置と育成強化
- ベテラン社員の活用方策や専門職制度活用

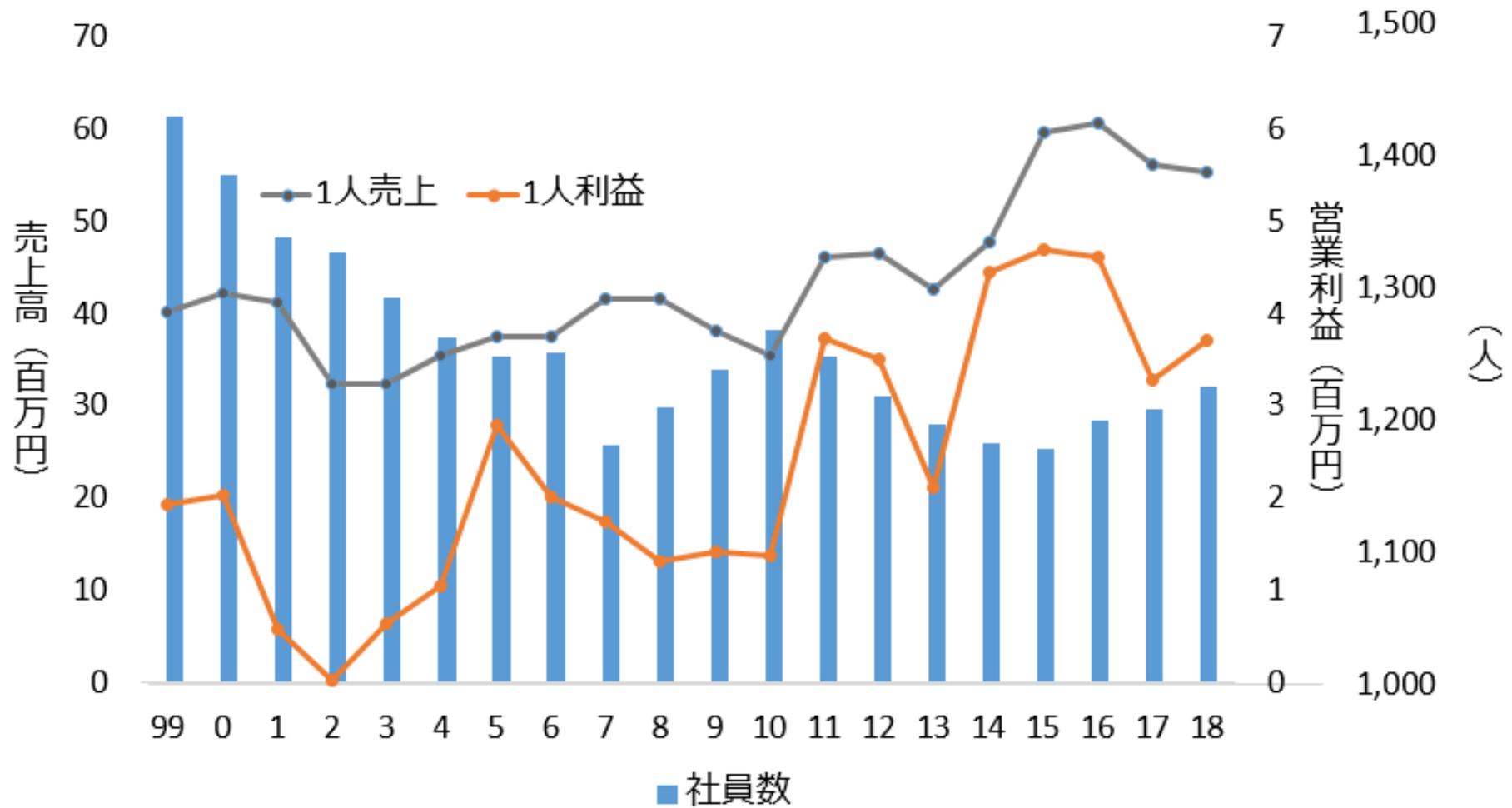
【業務改革】

- 社内のあらゆるシステムの検証、刷新
- 社内規定・要領・マニュアルなどの体系見直し
- 業務プロセスの見直し、清流化

【改善】

- 現場の生産性向上に資する改善活動の定着化
- 改善施策の全社大展開

【参考】1人当たり売上・営業利益



- 建設・保守会社で初めての大規模天然ガス発電所運転業務を開始
- 三菱日立パワーシステムズ(株)様ならびに三菱電機(株)様と共同体を設立し、福島ガス発電(株)様から「福島天然ガス発電所」の発電設備に係る運転・日常保守（O&M）と長期保守（LTSA）を受注
- オリンピックイヤー（2020年）運転開始を目指し、建設工事を推進中
- 2018年10月1日、福島県相馬市に東京エネシス相馬寮を開設



- 東北電力(株)様より女川原子力発電所 2号機自動消火設備設置工事他 2件を東北発電工業(株)様と共同企業体として受注
- 3月25日、東京エネシス・東北発電工業特定工事共同企業体女川町工事事務所を開設



【原子力】 福島第一建屋内調査のロボット開発 Q'd東京エネシス

- 東京電力HD(株)様からの要請（多様な用途に利用可能、低価格）にお応えし、高放射線エリアにおいても被ばくすることなく建屋内を調査することを目的として、無線による遠隔操作で多様な調査機器を積載可能な走行装置（上部フラット形状台車）を開発、納入。
- コンクリート壁・障害物により電波障害が発生しやすいため、電波障害により走行装置が操作不能とならないよう、電波リレーを行う中継機を搭載した「自走式中継機能付き 遠隔操作走行装置（台車）」の開発を進める。



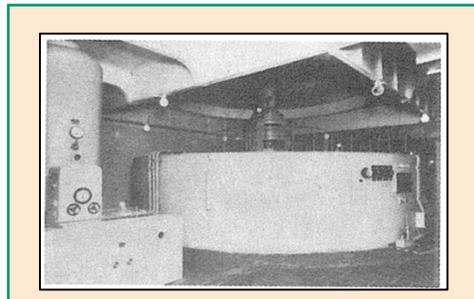
多様な調査機器を積載可能な走行装置
（納入品）



自走式中継機能付き 遠隔操作走行装置
（開発中）

水力発電所 65年の時を経て再び！

- 当社の水力事業は、1947年の設立以来の歴史を誇っており、当社が携わった発電所は全国各所に存在
- 長き歴史を経た発電所をこれまで培った技術を用いてリニューアル

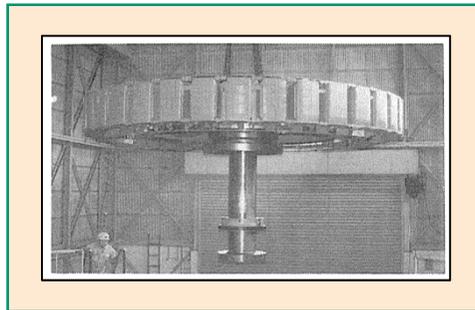


東京電力HD(株)様笹平発電所
所在地：長野県長野市



件名：新設工事
工期：1953.2～1954.1

件名：水車発電機基礎改造工事他
工期：2017.12～2020.3

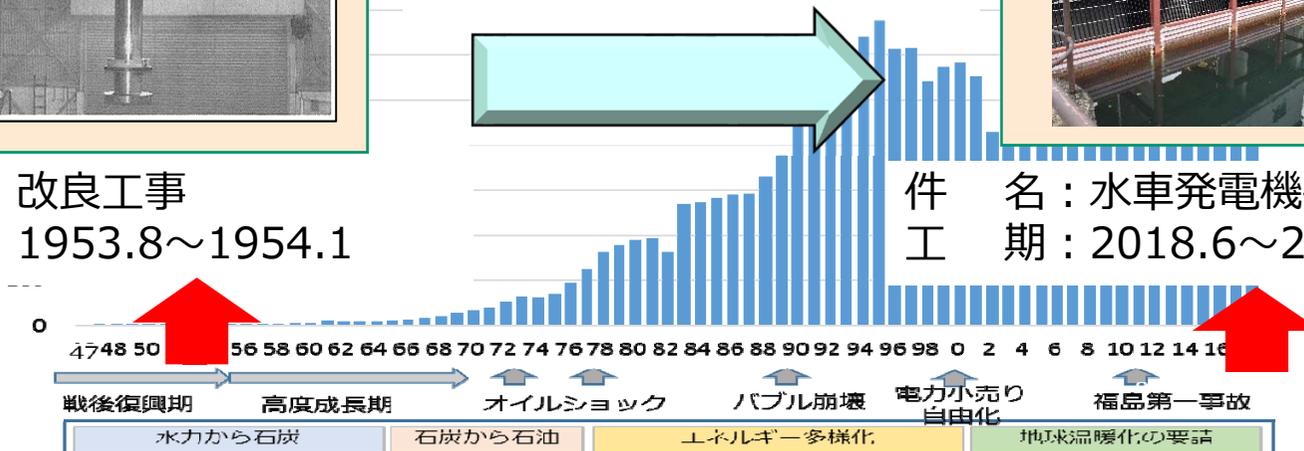


東京電力HD(株)様金川発電所
所在地：福島県喜多方市



件名：改良工事
工期：1953.8～1954.1

件名：水車発電機据付工事
工期：2018.6～2019.10



【コジェネ】 省エネ・環境問題対応のお手伝い Q'd東京エネシス

- 三菱ふそうトラック・バス(株)川崎工場様向け「ガスエンジンコージェネレーションシステム」が完成
- システムの設計、調達、施工（土木建設工事、設備設置工事）、試験・試運転までを一括して受注（EPC契約）
- 新型ガスエンジンシステム発電による省エネルギー型の冷温水ネットワークシステムの構築をご提案し、ご採用
- 工場内の電力源とともに、ガスエンジン排熱を工場内のオフィスや生産設備の冷暖房にも有効活用
- お客さまが求めるエネルギー効率の向上、CO₂排出量削減の実現に貢献
- 同システムの遠隔監視・メンテナンス業務（O&M）を受注（2019年1月から5年間）



- 東京都は東京を来訪される方々を惹きつける都市を目指して、隅田川地域等重点エリアを定め、築地大橋等の公共施設等をライトアップ化
- 隅田川河口から一番目にかかる橋にふさわしく、また、隣接する勝鬃橋との調和しつつも東京のランドマークとして機能する先進性、構造美が表現されている「築地大橋」
- この魅力をさらに一層引き立てるべく、電力事業、CATV事業と広角的に事業を展開してきた当社の技術・ノウハウを活かし、明るい東京の未来に向けて貢献



参 考

主要な経営指標等の推移（連結）

連結経営指標等

決算期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高(百万円)	60,008	74,159	73,558	68,709	68,644
経常利益(百万円)	5,702	6,077	5,954	4,356	5,031
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,420	4,125	4,058	2,904	3,508
純資産額(百万円)	50,939	52,807	56,138	58,641	61,455
総資産額(百万円)	74,074	85,354	78,866	83,446	85,755
1株当たり純資産 (円)	1,450.86	1,562.89	1,666.35	1,734.86	1,812.12
1株当たり当期純利益(円)	97.80	118.70	120.62	86.07	103.64
売上高営業利益率 (%)	9.3	8.1	7.9	6.1	7.0
自己資本比率(%)	68.5	61.6	71.2	70.3	71.7
自己資本利益率(%)	7.0	8.0	7.5	5.1	5.8
株価収益率(倍)	10.1	7.7	7.9	13.9	9.5
従業員数(人)	1,376	1,384	1,499	1,489	1,455

※ 2016年3月期 自己株買付（130万株、13億円）

免責事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。